

「 be a POP☆STAR! -川とノリオ- 」 (14時間扱い)

授業者 森 紗 織

1 教材の特徴

学習内容の 系統性

読むことにおける領域の構成は、説明的な文章と文学的な文章に分かれています。文学的な文章における「精査・解釈」では、3・4年生では「登場人物の気持ちの変化や性格、情景」などを具体的に想像します。5・6年生では「人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることにつながっていきます。

表現の効果

『表現の効果を考えると、想像した人物像や全体像と関わらせながら、様々な表現が読み手に与える効果について自分の考えを明らかにしていくことである。感動やユーモアなどを生み出す優れた叙述、暗示性の高い表現、メッセージや題材を強く意識させる表現などに着目しながら読むことが重要』です。

小学校学習指導要領
解説国語編 p149

本単元の目的

本単元では、文章の内容や形式に着目して読み、書かれていること、あるいは書かれていないことについて、具体的に想像します。それから理解したことに基づいて、自分の既存の知識や様々な体験と結びつけて感想をもったり考えをまとめたりしていきます。ですから、文学的な文章を精査・解釈し、考えの形成することを目的とします。

教材の難しさと 解決の方策

鈴木信義(1985)

『いぬいとみこ作「川とノリオ」は、教育出版・日本書籍の教科書小学6年に1980年度版から採用されており、その散文詩を思わせるような作品形象の見事さは最終学年の文学教材としてふさわしいと言えるが、同時に、十分な理解と鑑賞にはそれなりの困難が伴うと思われる。』とされています。

川野理夫(1983)

いぬいとみこによると、第二次世界大戦中、戦時保育園の保育士として経験した原爆体験から、人々への鎮魂の思いを込めて書いた短編の一つであり、1976年ごろから全国の熱心な教師の手で副読本として小学生にも紹介されてきたという経緯があります。長い間、教材として採用され、その先行研究は数限りなく行われています。詳細な分析が掲載されている中に『まえがきらしい冒頭部分を私はこう読んだ。とんでもない主観読みだ、という非難を受けそうだけれど、それこそ何十度もの読みのあとのあとでやっと到達することのできた読みなのである。』という一文があります。読み方教育研究に注力している大人が様々な経緯を経て辿り着く読みがあります。そのような先人たちの先行研究を踏まえるほど授業者は「この理解では読んだとは言えないのではないか。」という思いを感じがちです。

二瓶弘行(2012)

しかし、その上で改めて読みの力をつけることに視点を向けなければなりません。『子供たちに教えるべきは、作品の持つ内容価値ではない。教師の作品解釈でもない。正解として作品に存在するとされる主題でもない。子供が作品を自ら読み進め、自らの作品世界を想像するための「自力読みの力」である。そして、この「自力読みの力」こそ、「活用」できる、文学作品の読みの力。』であり、『「細かい点まで理解するにはこうするといい」と言って細部の読み方を教え込む立場で教師が臨めば、児童は受け身で授業を受けることになる。読解法など、技能を教える場合、それを学ぶ必要感、学ぶ価値を自覚できる場面で教えた方が効果が大きい。』ということから言語活動の設定する重要性が出てきます。『物語の一つ一つの読み方を身につけることを通して、子どもたちの「言葉による見方・考え方」が鍛えられていく。物語の構成・構造をつかむ力、物語の一語一文に着目し、その表現を読み深めていく力、物語を吟味・評価する力それらの力を子どもたちが身につけ、自分で用いることができるようになっていくことで、子どもたちは物語をさらに深く読めるようになっていく。』とあり、より吟味した言語活動のあり方についても考えていく必要があります。

全国国語実践教育
研究会(1993)

読みの授業研究会
関西サークル(2019)

中心となる概念

子供に言葉による見方・考え方を養う言語活動を設定し、子供が自分の力で文学作品を読んでいく力を身につけることを目的とします。

この「川とノリオ」での読みの経験が読書へとつながり、自ら進んで読書をし、読書を通して人生を豊かにしようとする態度を養うことへとつなげていきたいと考えています。

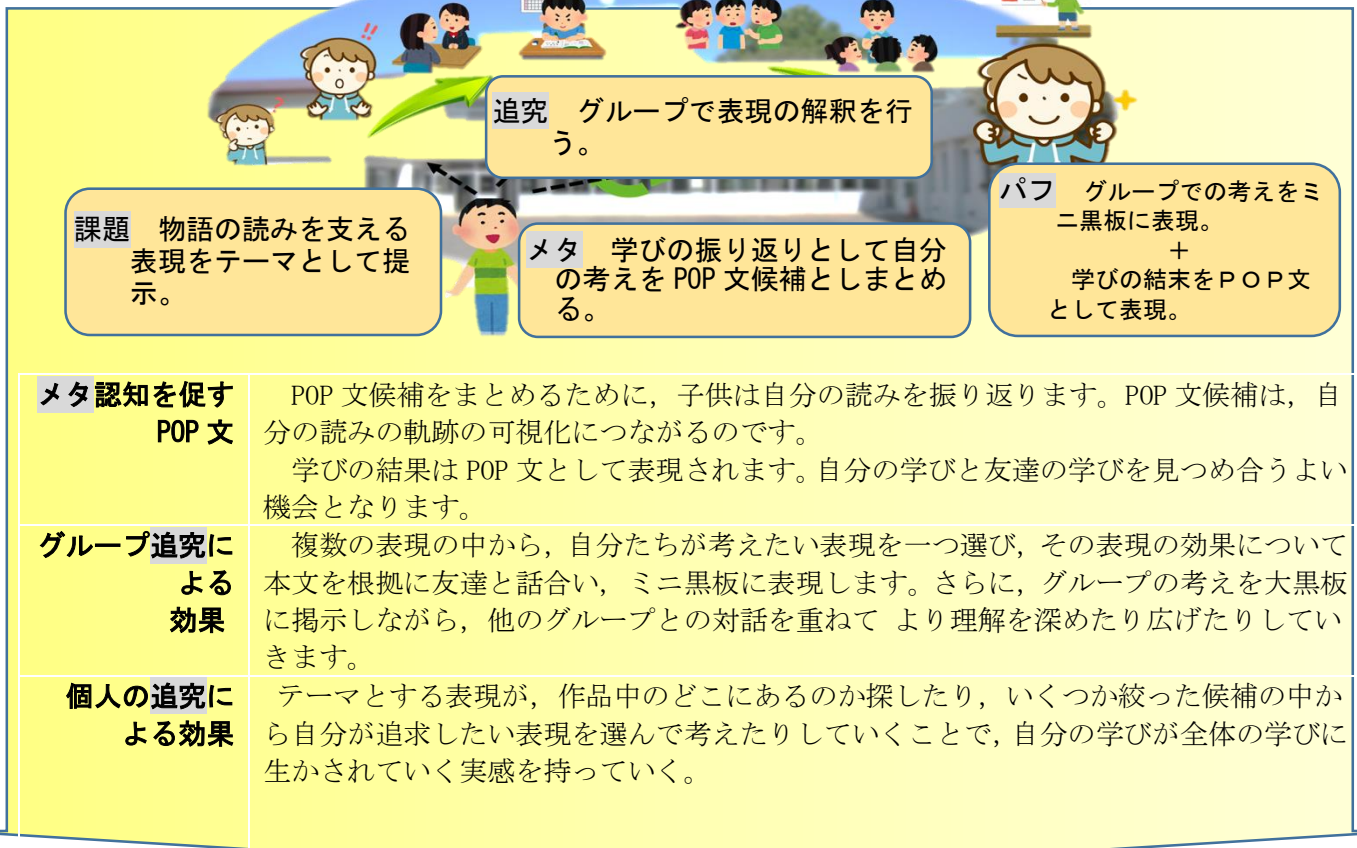
2 本単元の目標と学習内容を身に付けた姿、具体的支援（課題設定、追究、パフォーマンス、メタ認知）

目標 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることに基づいて、自分の考えをまとめることができるようにする。

本単元で鍛える見方・考え方 「川とノリオ」を読み、主人公を含む登場人物や背景が、それぞれの人物とともにどのように描かれているのか、表現に着目して象徴される「もの・こと」は何かを捉えたり、問い直したりして、言葉への自覚を高める。

「子供が学びをつくる」ための具体的支援

子供が学びをつくる



本単元の学習内容を身に付けた姿

知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう力
「川とノリオ」を読み、話し合う中で、比喩や反復などの表現の工夫に気が付くことができる。(1-オ) 日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づいている。(3-オ)	「川とノリオ」を読んで考えたことを感想文やPOP文にまとめるために、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉え、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしながら読んでいる。(Cイ・エ) 作品を読んで交流することを通して、まとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。(C・カ)	「川とノリオ」やその他の作品を読み、進んで自分の思いや考えを伝え合おうとしている。

4 単元計画

時	子供の学習活動 (○)
1	<p>○ POP コンクールについて知り, 学習の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>POP☆STAR の POP とは (S) 作品の素晴らしさが伝わり, (T) とても読み深めていることがわかる (A) あっとなるキャッチコピーで (R) レイアウトもすごい。</p> </div> <p>対 表現することを目的とした能動的な学習にするため, 学習のゴールとなる活動についての理解を深め, 具体的な目指す姿やイメージを確認する。</p> <p>○ 「川とノリオ」と出会う。 課題 キャッチコピー候補を決める手がかかりとなるよう, 物語の読みを支える表現をテーマ毎に読み深める。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>音や様子を表す表現 (オノマトペ)</p> </div>
2	<p>○ 本文のどの部分にどこにその表現があるのか探す。(個)</p>
3	<p>○ 3つに絞られた表現から, 自分の追求したい表現を選ぶ。(個)</p>
4	<p>○ 同じ表現を選んだ仲間と一緒に, 表現の効果についての考えをミニ黒板にまとめる。</p> <p>○ 黒板交流会を開く。</p>
5	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>たとえの表現 (比喩)</p> </div> <p>○ 本文のどの部分にどこにその表現があるのか探す。(個)</p>
6	<p>○ 3つに絞られた表現から, 自分の追求したい表現を選ぶ。(個)</p>
7	<p>○ 同じ表現を選んだ仲間と一緒に, 表現の効果についての考えをミニ黒板にまとめる。</p> <p>○ 黒板交流会を開く。</p>

	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>表現の工夫</p> </div> <p>○ 本文のどの部分にどこにその表現があるのか探す。(個)</p> <p>8 ○ 3つに絞られた表現から, 自分の追求したい表現を選ぶ。(個)</p> <p>9 ○ 同じ表現を選んだ仲間と一緒に, 表現の効果についての考えをミニ黒板にまとめる。</p> <p>10 ○ 黒板交流会を開く。</p> <p>課題 これまでの学びを振り返り, 自分の学びの結果をまとめることができるよう, 書き貯めたシートから候補を選び, POP 文を書き上げる。</p> <p>○ キャッチコピーを書く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>キャッチコピーの書き方</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 作品中でベストの表現を選ぶ。(心情を表現している。) ② 追求メモの中から推したい言葉を選ぶ。 ③ 自分の思いが伝わるフレーズに並べる。 ④ ベストの表現を部分的に取り入れる。 </div> <p>11</p> <p>12</p> <p>13</p> <p>14 ○ キャッチコピー交流会を開く</p> <p>○ レイアウトを決め, POP を完成させる。</p> <p>○ POP 展示会を開き, コンクールに応募する。</p>
--	---

5 本時案 (7/14)

本時の目標

作品中の比喩表現の効果に着目し、ノリオの心情の変化やその背景について考えをまとめながら読む。

学習活動 (○) と子供の姿

教師の支援 (☆, 課題, 遊, 対, 対, 対) と評価 (◇)

この作品において、比喩の表現の効果は・・・

課題 子供が学習の主体になるよう、課題を子供と設定する。

- 大黒板に貼りながら、グループの学びを交流する。

課題 黒板交流会を開き、比喩表現の効果は、キャッチコピー候補になるか検討しよう。

すすきのほが、川っぶちで旗をふった。

へいけがにのように、ぎゅっとゆがむ。

父ちゃんは小さな箱だった。

- 各表現を選んだグループの考えを基に話し合う。

もしかしたら、川も別れを悲しんでいるように、読めないかな。

平家って源平の戦いで負けた方なんだよ。それくらい恨みとか辛さとか深い顔だったんだよ。

小さな箱って、すごくショックだったんだよ。タカオの父ちゃんは大きな、って書いてあるし。

- 作品中の比喩表現は、キャッチコピー候補になるか考え、「比喩表現シート」を完成させる。

◇ 登場人物の相互関係や心情などについて描写を基に捉え、人物像・物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしながらまとめている。

物語だから、心情を表現しているかどうかだったよね。

いろいろつながっていたけれど、どれもノリオやじいちゃんの気持ちだったよ。

☆ 根拠を明確にして話し合うことができるよう、具体的に本文のどの部分から推測できるのか、指し示すよう促す。

比喩は心情を伝える効果があるんだね。すごく効果を感じたよ。有力なキャッチコピー候補だね。

対 学びの振り返りとしてキャッチコピー候補になるか、自分の考えをまとめる。

- 学習を振り返り、次時への見通しをもつ。

次は、ラストの「表現の工夫」だから、そろそろ決める準備をしよう。

比喩みたいに隠れているものが、きっとあるはずだから慎重に読みたいな。

☆ 次の学習への意欲を高め、見通しを持つことができるよう、考えを広げている様子を取り上げ、賞賛する。